

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第226号

令和7年11月27日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

子ども科学探検隊 特集号

11月になり、秋も深まってまいりました。今号では6月～9月に実施しました小学生対象の「子ども科学探検隊」を紹介いたします。

「子ども科学探検隊」とは

「神奈川県青少年科学体験活動推進協議会」会員である大学・科学館・企業等の施設を訪問し、参加した小学生の科学に対する興味や関心を高め、将来の理系人材のすそ野を広げる事業として毎年実施しているものです。

今年度は18の施設で262名の小学生が様々な科学体験をすることができました。



6月 21 日(土) 麻布大学

ペットとのふれ合いによる情操教育



実際に動物とふれあいながらイヌやネコの生態、人間との関わり方について学びました。クイズやふれあい体験に子どもたちは目を輝かせていました。

6月 28 日(土) 日本大生物資源科学部博物館(骨の博物館)

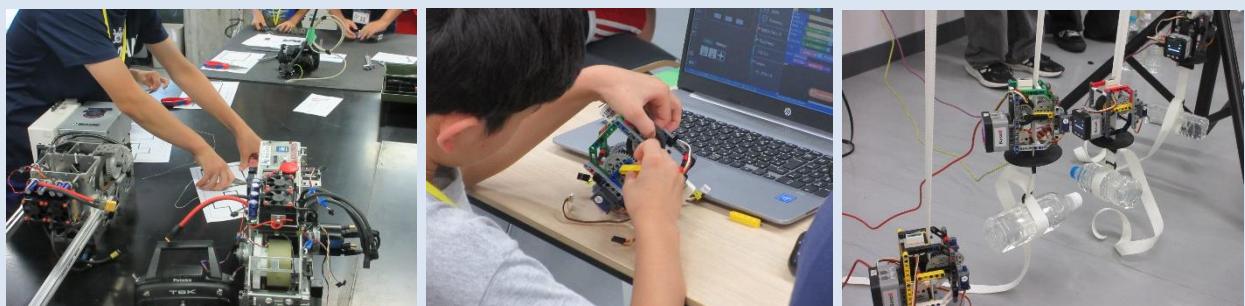
博物館の標本に親しもう



館内の展示やバックヤードの見学後、普段触ることのできない標本を、安全な方法で手に取り、手触り、重さ、においなどの観察を通して、自然や生き物の世界を体感しました。

7月6日(日) 神奈川大学

宇宙エレベーター × プログラミング教室



宇宙エレベーターについての講義と研究室見学、宇宙エレベーターをテーマとしたロボット製作とプログラミングを行いました。

7月12日(土) 日本技術士会神奈川県支部 会場:青少年センター科学部(本厚木)

作って遊ぼう モールス練習機



実際にモールス練習機を製作し、モールス信号について学ぶことができました。また、アマチュア無線交信体験も行いました。

7月23日(水) 国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)

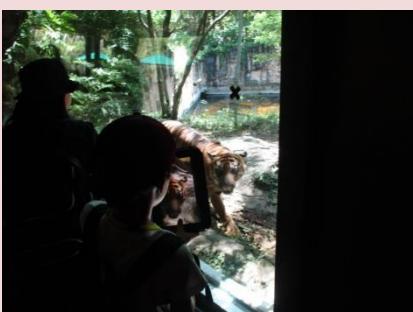
海底で起こる地震について知ろう！



しんかい 6500 の実物大模型のコックピットに入る体験や深海について学ぶことができ、参加した子どもたちは大喜びでした。

7月 26 日(土) よこはま動物園ズーラシア

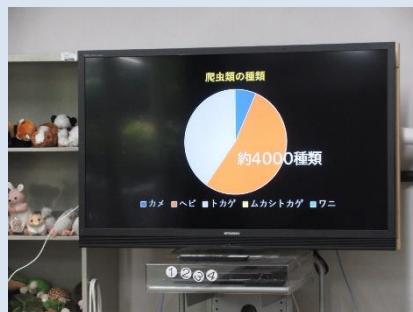
動物園のお仕事を知ろう！



ゾウ舎のバックヤードツアーや飼料庫見学など、普段見学できない動物園の裏側をガイドしていただき、動物園のお仕事をについて学びました。

7月 29 日(火) 横浜市立野毛山動物園

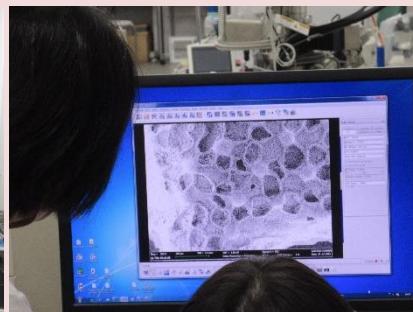
ヘビってどんな生き物なの？



飼育員からヘビについてのお話を伺った後で、実際に触れて観察をしました。他の動物とは体の形が全然違うヘビがどんな動物なのか学ぶことができました。

7月 31 日(木) 青山学院大学 理工学部

走査型電子顕微鏡(SEM)でミクロの世界を観てみよう



電子顕微鏡で肉眼では見えないものの観察をしました。電子顕微鏡で見るための前処理を行い、顕微鏡の簡単な操作を体験することができました。

8月2日(土) 鎌倉女子大学 プロロプログラミングプロジェクト (KWP3)

プログラミングの世界へプロロと一緒に一步踏み出そう



学生スタッフがプロロというロボットを使ったプログラミングを丁寧に教えてくれました。コマンドを組み合わせてセンサーを活用する操作にも挑戦しました。

8月3日(日) 神奈川工科大学

自由研究！川の水の汚れを探ろう！



川の水の汚れについて考え方や環境への影響を教えていただき、ミネラルウォーター や水道水の成分について簡単な分析方法を学び、実験によりその違いを調べる体験ができました。

8月5日(火) 東海大学

ドクターアキヤマのサイエンス教室 '25



ペーパークロマトグラフィー、カラフル人工イクラ、超低温の世界を体験する実験など、さまざまな工作や実験ショーなど盛り沢山の内容で、参加者は大満足の様子でした。

8月6日(水) 鎌倉女子大学 教育学部教育学科

身边な野菜からでんぷんを取りだしてみよう！



身边な野菜からでんぷんを取り出す実験を、家庭で使われている道具を使って行いました。でんぷんの性質を学ぶことができました。

8月9日(土) 北里大学

ドライアイスの3つの不思議 二酸化炭素の体験型化学実験



研究室を見学した後、ドライアイスの昇華する性質や水に溶けると炭酸に変わる性質、表面温度が-78°Cである性質を確認する実験を行い、ドライアイスの性質を学びました。

8月20日(水) 神奈川県環境科学センター

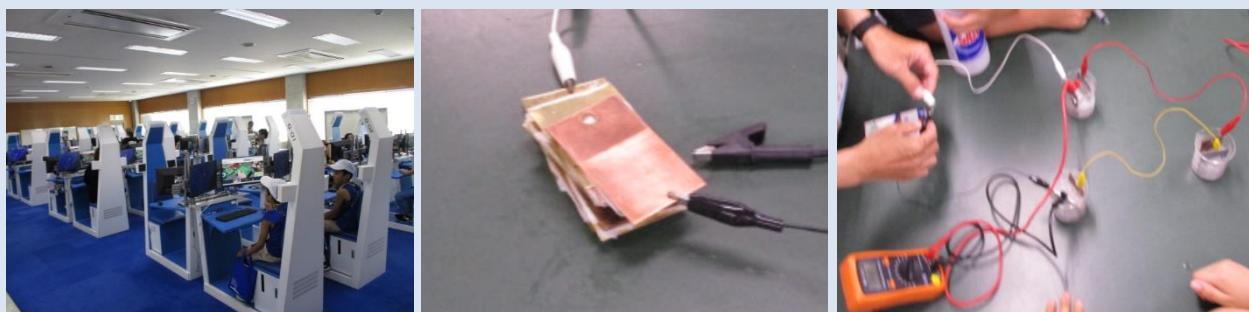
温暖化と海の関係を学ぼう～熱気球の実験もやるよ～



無響室や残響室などの施設見学の後、温暖化と海の関係について教わり、二酸化炭素や空気の性質について実験しました。温暖化防止に対する海の役割について学びました。

8月 21 日(木) 湘南工科大学

いろいろな金属を組み合わせてスライム電池を作ろう！



さまざまな金属で電池を作り、その組合せの違いにより電圧が変わることを実験で学びました。スライムに金属を刺してスライム電池を作り、発光ダイオード(LED)を光らせました。

8月 22 日(金) 東芝 HERITAGE SQUARE

「コンセントの向こう側はどうなっているの？」(テーマ:エネルギー)



人力、風力、太陽光など、いろいろな方法で発電する実験を通して、電気のつくり方について学び、将来どのような発電方法が最適なのかを考え、発表しました。

9月 13 日(土) 横浜市立金沢動物園

動物園バックヤード見学



キリン舎のバックヤードを見学するなど、普段は入れない場所を見ることができました。また、見学を通して、動物園の社会的役割について学ぶことができました。

9月 20 日(土) 伊勢原市立子ども科学館

七宝焼き工作とプラネタリウム



七宝焼きでは、いろいろな色を使い、ビーズなども組み合わせながらキーホルダーを作成しました。また、プラネタリウム見学をすることができ、参加者はとても喜んでいました。

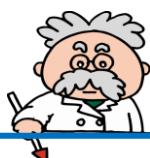
参加者の満足度調査結果

参加者のアンケートによる満足度調査の結果は右の表の通りです。

222名がアンケートに回答し、「満足した」と回答した子どもは、満足度で5と4を合わせると 96.8%、5点満点で平均4.8という結果でした。

今年度もアンケート結果から、参加者の満足度が非常に高く、会員の施設の皆さまが提供してくださったプログラム内容が素晴らしいものであったことが伝わりました。子ども科学探検隊への皆さまのご協力、ありがとうございました。

| 満足度 | 人数 | 割合 |
|-----|------|-------|
| 5 | 179人 | 80.6% |
| 4 | 36人 | 16.2% |
| 3 | 6人 | 2.7% |
| 2 | 1人 | 0.5% |
| 1 | 0人 | 0% |



11月16日(日)に県立青少年センターで「青少年のためのロボフェスタ 2025」を開催しました。会員の皆さんにも多く出展していただきました。当日は来場者数 536 名(青少年 262 名、一般 274 名)、出展者・スタッフの 125 名で 661 名の来館者と昨年度と比較して減少しました。その一因として、横浜市でインフルエンザ流行警報が発令され、子どもたちの罹患と学級閉鎖が多かったことがあるかもしれません。ただ、来場された方はそれぞれに見て体験して楽しい時間を過ごされていたようです。来館された皆さまのご支援、ご協力に改めて感謝いたします。第 227 号ではその様子を皆さんに報告させていただきます。

(事務局:千葉、山田、山口、藤野)